築造1400年の歴史
狭山池
SINCE 616

報道資料
大阪狭山市

令和 5 年（2023 年）10 月 4 日

狭山池シンポジウム 2023
「狭山池と水～史跡から考えるくらしと水環境～」の開催

狭山池は、1400 年前の飛鳥時代に田畑へ水を供給する人工のため池として築造され、現在に至るまでその維持管理に多くの人がかかわってきました。今の狭山池が維持されてきた背景には、先人たちの類まれなる努力がありました。

現在の狭山池は、平成の改修を経て、灌漑機能と高い治水機能を併せ持ち、整備された狭山池公園は憩いの場として活用されています。今、私たちは未来へ向けて、史跡狭山池を守り伝える立場にあります。

14 回目を迎える今回のシンポジウムでは、狭山池を未来へ伝えるために、私たちに何ができるのか、水の環境の保全、利用と活用をテーマに、狭山池の水の流れる範囲、流域全体を視野に入れて、これから先も狭山池を維持し続けるための方向性を考えていきます。

【開催日時】
令和 5 年 10 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分（午後 1 時開場）
【開催場所】
大阪府立狭山池博物館・ホール（大阪狭山市池尻中二丁目）
【パネリスト等】
「狭山池の環境と生物」
平井規央（ひらい・のりお）／大阪公立大学大学院農学研究科教授
「都内最長の用水路をもつ日野市の歴史とその活用」
石渡雄士（いしわた・ゆうし）／秋田公立美術大学美術学部助教
「琵琶湖が繋ぐ　人と自然　人と人」
平山奈央子（ひらやま・なおこ）／滋賀県立大学環境科学部准教授
【コーディネーター】
上甫木昭春（かみほぎ・あきはる）／大阪府立大学名誉教授
【定員】
96 名（事前申し込み）
【申し込み方法】
市役所歴史文化グループにある申込用紙に必要事項（「狭山池シンポジウム参加希望」・郵便番号・住所・名前（ふりがな）・電話番号）を書いて、歴史文化グループへ直接。市申込フォーム、はがき、電子メールも可
【参加費】
無料
【主催】

大阪狭山市、大阪狭山市教育委員会

【後援】

大阪府教育委員会、南海電気鉄道株式会社、泉北高速鉄道株式会社、大阪狭山市商工会

問い合わせ　歴史文化グループ（担当／森口）☎072-366-0011